

エフィーダ含有の新規水稲用初中期一発除草剤「シンゲキ」

2成分で安定した除草効果が期待できる！

「シンゲキ」は、エフィーダ（フェンキノトリオン）、フェントラザミドの2成分を含有する、クミアイ化学工業株が開発した新しい水稲用初中期一発除草剤です。本剤は、2024年シーズンから販売が開始されており、1キロ粒剤（写真1）・豆つぶ250・ジャンボ・フロアブルの4剤型を揃えています。

「シンゲキ」の特長

発生前ノビエに対する長い残効性

本剤は、ノビエに対して残効の長

いフェントラザミドを含有しており、ノビエ発生前の早い段階で処理することで、ノビエを長期間抑えます。

ホタルイおよび幅広い広葉雑草に対する高い効果

本剤は、エフィーダを含有しており、ホタルイおよび幅広い広葉雑草（SU剤抵抗性およびALS阻害剤抵抗性バイオタイプを含む）に対して高い効果を示します（図1）。特に、コナギや一年生広葉雑草に対して草種を選ばず幅広く卓効を示し、オモダカやコウキヤガラなどの多年生広葉

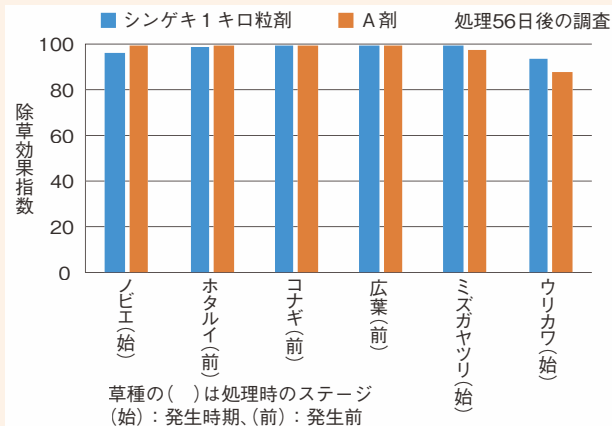


図1 移植直後処理における除草効果 (2021年クミアイ化学工業株社内圃場試験)

【試験条件】

移植日、薬剤処理日：5月17日

評価方法：指数評価（0：作用なし～100：完全枯殺）

特記事項：ノビエ、イヌホタルイ、コナギ、一年生広葉雑草は自然発生（イヌホタルイ、コナギはSU剤抵抗性を含む）で、ウリカワ、ミスガヤツリは塊茎埋め込み

表1 シンゲキ剤の殺草スペクトラム

草種	一年生雑草							多年生雑草							藻類	
	ノビエ	コナギ	アゼナ類	ミノハコベ	ヒメシソハギ類	ヒレタゴボウ	イボクサ	マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミスガヤツリ	ヒルムシロ	セリ		オモダカ
発生前	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
生育期	2.5葉期まで	3葉期まで	3対まで	分枝期まで	草丈7cmまで	草丈3cmまで	再生始まで									
								2葉期まで	1葉期まで	2葉期まで	2葉期まで	発生期まで	再生始まで	発生始まで	発生始まで	発生前まで

表中の◎：著効、○：有効、△：やや不十分な効果、×：不十分な効果、-：データなしを示す

*：ホタルイ、ヘラオモダカは種子発生の個体に対する効果を示す（ヘラオモダカは1キロ粒剤を除く）

**：藻類は1キロ粒剤、フロアブルの評価を示す

***：ミスガヤツリは1キロ粒剤の評価を示す

****：オモダカ、コウキヤガラについては有効な後処理剤との組み合わせで高い効果が認められている（上記殺草スペクトラム表は委託試験とクミアイ化学社内試験の結果から総合的に判断したものである）



写真1

「シンゲキ1キロ粒剤」

異なる2成分を含有しており、移植水稲栽培では1キロ粒剤・フロアブルは田植同時処理から、豆つぶ・ジャンボは移植直後からノビエ2.5葉期まで使用できます。また、直播水稲では、すべての製剤がイネ1葉期～ノビエ2.5葉期に使用できます。1キロ粒剤、フロアブルおよび豆つぶは、無人航空機での散布（フロアブルは滴下）登録があり、さまざまなニーズにあった処理が可能です。



「シンゲキ」は、以上のような特長を持っており、2成分であることから特別栽培米などにも使用しやすく、なおかつ直播水稲にも登録があることで、さまざまな地域や圃場で安定した除草効果を発揮することが期待されます。

●問い合わせ先

クミアイ化学工業株 企画普及部

TEL.03-3822-5128

【全農 耕種資材部 農薬課 農業技術対策室】



写真2 イボクサに対する伸長抑制効果 (2021年クミアイ化学工業株コンテナ試験)

【試験条件】

イボクサ移植日：9月14日（15cm切断茎を角ポットに地上部10cm移植）

薬剤処理日：9月14日（コンテナに薬剤処理）

試験方法：薬剤処理7日後にコンテナ外側の両端にイボクサ移植ポットを設置し、再生茎がコンテナの田面水に接するように針金のリングで侵入を誘導した